

## I. 新年のご挨拶

日本内燃機関連合会  
会長 高畑 泰幸

新年明けましておめでとうございます。

年頭に当たり、日本内燃機関連合会(日内連)を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻と、これに対する G7 を中心とする先進国によるロシアへの大規模な経済制裁の影響により、食料やエネルギー価格を中心とした商品市況価格の高騰を通じて、世界経済と金融市場が大きなショックを受けた 1 年でした。又、2020 年以來の新型コロナウイルスパンデミックは 7~8 月に第 7 波を迎え、そのピークでは 1 日の感染者数が 26 万人に達する事態となりました。しかしながら、10 月からの第 8 波では、本稿執筆時点(2022 年 12 月初旬)で感染者数は第 7 波のようには増えていません。新型コロナウイルスの弱毒化の傾向から、感染症上の分類を 2 類相当から季節性インフルエンザと同等の 5 類に引き下げることも含めた見直しの議論が本格化されることも、約 3 年続いたパンデミックが終息に向かう兆しかとも思われますが、今後の変異やインフルエンザとの同時流行の可能性もあり、依然予断を許さない状況であると言わざるを得ません。



当連合会は昨年 11 月に、日本機械学会動力エネルギーシステム部門殿より、部門行事、動力エネルギーシステム技術の研究・技術開発、社会に対する活動などにおいて顕著な貢献を行った個人、団体をたたえる部門一般表彰貢献表彰を受賞いたしました。又、同じく 11 月に日本ガスタービン学会より、学会の創立 50 周年を記念して、当会の賛助会員としての支援・協力に対し、永年賛助会員感謝状が授与されました。これら 2 つの受賞は、当連合会の日本での内燃機関工業振興における永年にわたる貢献が評価されたもので、会員企業および大学関係等の学識者の方々による当連合会活動への多大なるご協力により受賞できたものと深く感謝しております。これを機に、当連合会は CIMAC や標準化事業を通して、より一層カーボンニュートラル等の課題解決に関わる情報発信に取り組み、関係業界に貢献していくと共に、関連団体との協力により業界の諸課題解決にも取り組んでいく所存です。引続き、皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

昨年は、韓国の釜山で第30回のCIMAC大会を開催予定でしたが、新型コロナの影響で延期され、本年6月12~16日に開催されることとなりました。2021年の論文募集で提出されたアブストラクトで一旦審議が完了していましたが、1年の延期に伴い最新の報告を取り込むとの趣旨から、2022年に再度の論文募集が行われました。結局、トータル640編のアブストラクトが提出され、2022年提出分を審議すると共に2021年審議分の見直しが行われ、46のテクニカルセッションで発表される約210編の論文が選出されました。大会では上記の論文発表以外に、約100件の論文が、従来と同様にポスター形式で掲示発表され、恒例のCollin Trust 基調講演、3件のパネル(内1件のテーマはDigitalization)も計画されています。更に新形式のPecha Kucha presentationsでは商品紹介、宣伝を含む発表が募集される予定です。皆様の第30回CIMAC大会への積極的な参加をお願いいたします。

最後に、本年が会員の皆様とご家族にとり、健康で実りの多い年となることを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。